

■ ヨーロッパへの出荷及び今後の展望

MAT はオランダの Nuts2 B.V. 社と提携し、カンボジア王国において初めてとなる同国産カシューナッツの継続的なヨーロッパへの出荷を開始しました。

今回の出荷は、ヨーロッパの厳しい品質基準をクリアしたものであり、第一弾として、20 フィートコンテナで、約 16 トンを出荷します。2025 年 3 月までに約 250 トンの出荷を予定しています。

来年度については、新たに乾燥機やカラーシューターなどの導入を検討しており、更なる生産量の拡大を目指しています。

搾油後の殻残渣を活用したバイオマス燃料化については、一般財団法人 JCCP 国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関による助成を 6 月から受け、カシューナッツ殻油の搾油方法の高度化、及び残渣のバイオマス燃料利用の効率化の検証に取り組んでいます。また、バイオマス燃料については、殻残渣のみでなく、早成樹であるカシューナッツの成木や間伐材も含めた活用を検討しています。

